

一心寺文書 一括(7点)

一心寺文書

いっしんじもんじょ

高台院書状 1 巻・1 枚、木下宮内少輔書状 1 枚、徳川家康禁制 2 枚、祐天寺祐遍書状 1 巻、萩春書状 1 巻

分野／部門

有形文化財／歴史資料

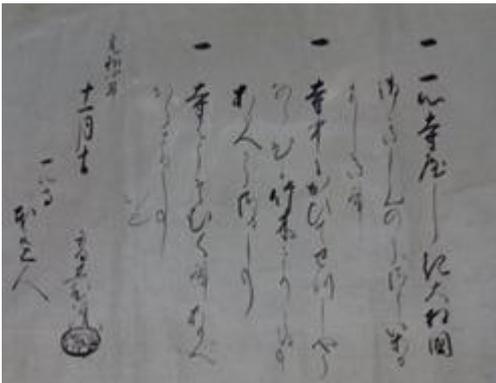
所有者

宗教法人 一心寺(いっしんじ)

所在地

大阪市天王寺区逢阪 2

紹介



一心寺は第二次世界大戦時の戦災で被害を受け、文書史料については残されたものが少ないが、江戸時代初期、中興期の文書およびその写しが伝来している。

中でも元和 7 年(1621)の高台院黒印状(左の画像)は原本と考えられ、一心寺に対し、寺地および大和国の寺領の安堵と、殺生・竹木伐採の禁止、寺務への違犯を禁じた制札である。

この禁制の添状である木下宮内少輔書状や慶長 5 年(1600)の家康制札の写しなどが含まれる。